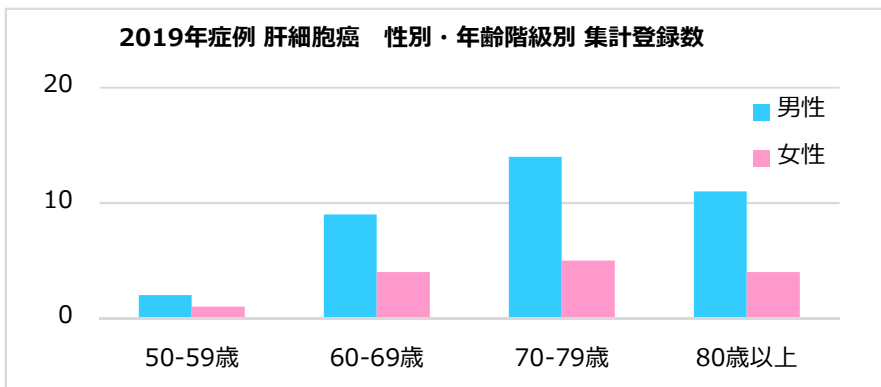
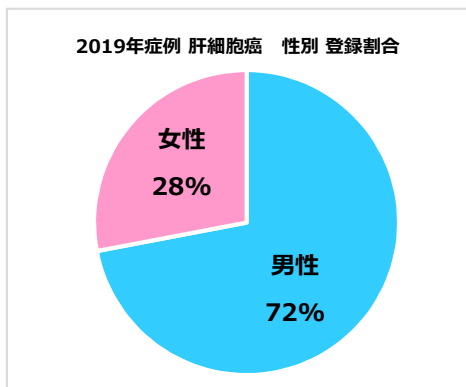
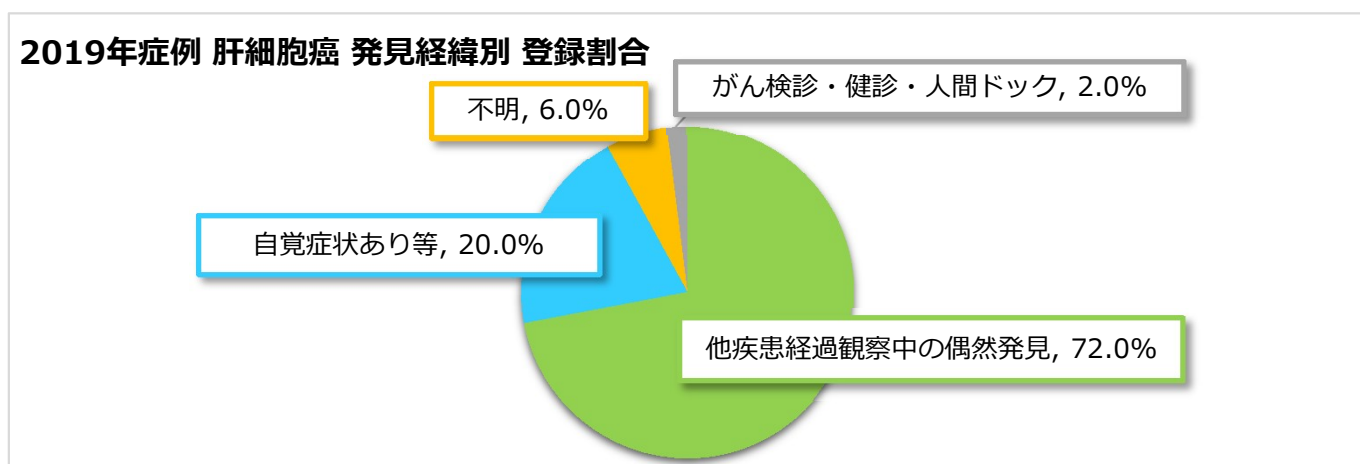
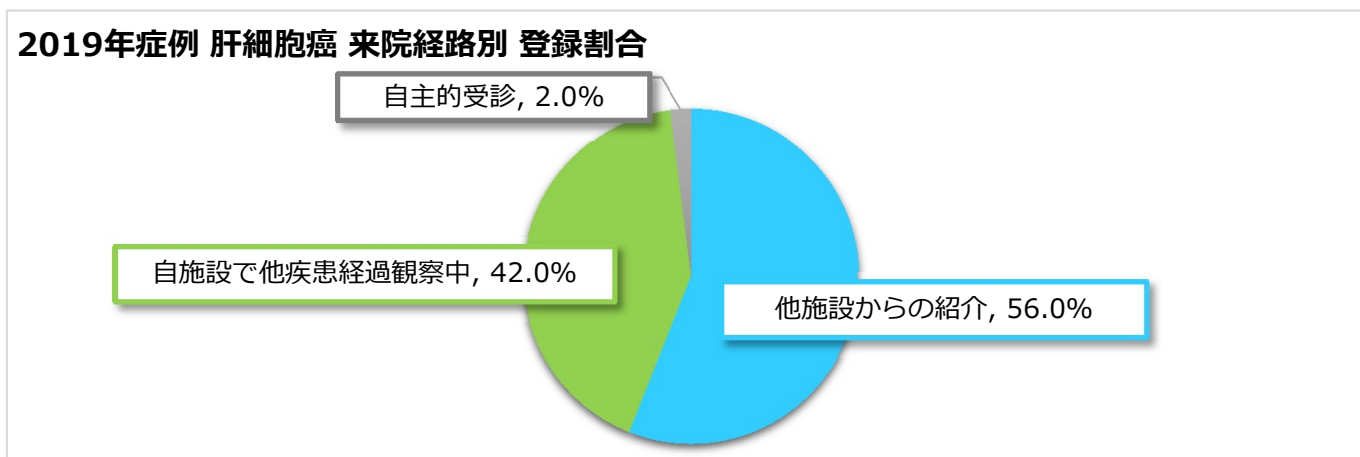
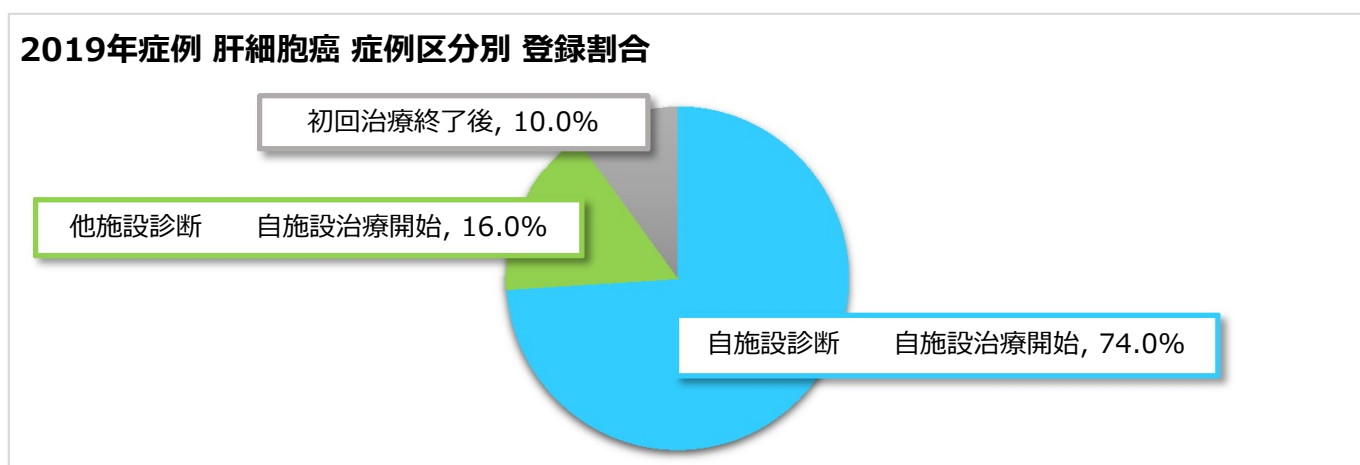


2019年症例 肝細胞癌

1 性別・年齢階級別 (セカンドオピニオン等除く)



2 症例区分・来院経路・発見経緯 (セカンドオピニオン等除く)



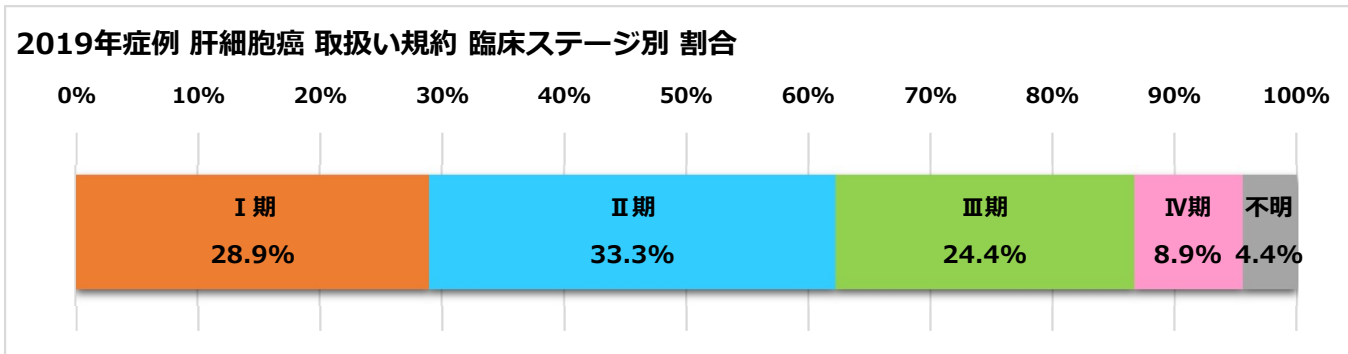
3 原発性肝臓癌取り扱い規約第6版 臨床ステージ

※当院で初回治療を開始した症例のみを集計した資料になります。診断のみの症例、他施設からの継続症例、初回治療終了後の緩和医療等に該当する症例は含みません。

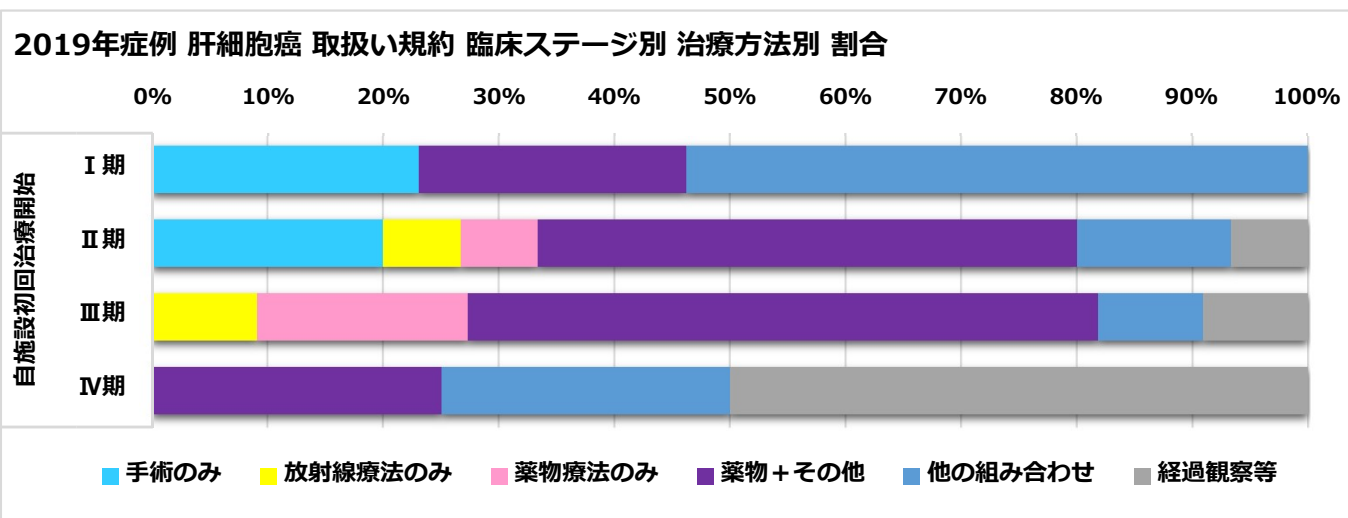
※他院で初回治療を開始した後に当院で行った治療や再発時の治療は含みません。

※日本の臨床の実情を考慮して、国際疾病分類（UICC）ではなく、がん取り扱い規約分類の臨床ステージで示しています。

※国立がん研究センターがん情報サービスの「院内がん登録全国集計結果閲覧システム」の施設別集計値と異なる可能性があります。（初回治療実施期間等の定義の違いによる）



がんの進行の程度は、「病期（ステージ）」として分類し、ローマ数字で表記することが一般的です。肝臓癌は、早期から進行するにつれてI期～IV期に分類されます。



※肝動注化学療法（TAI）、経皮的エタノール注入法（PEIT）、ラジオ波焼灼方（RFA）は、「その他」もしくは「他の組み合わせ」に該当します。

4 発見経緯とステージ

